

☆情報セキュリティのISOを更新しました☆

今年6月で創業50年を迎えるビー・エス・サイターは、皆様のお役に立てる「モノ」・「サービス」を提供することで長年のご愛顧をいただいております。そのサービスには「情報サービス」も含まれているため、弊社では2009年にISO/IEC 27001 (ISMS: 情報セキュリティマネジメントシステム)を認証取得しました。

ISMS認証取得により弊社従業員の情報セキュリティに対する意識向上とお取引先様からの信頼性向上、IT社会の役割と責任を果たすように努めております。

「情報」に対しての扱い・ルールが明確になっているか？という部分が重要で、書類の管理からパソコンで扱うデータ、管理策に基づいた各種取扱いルールと実施状況など広い範囲が認証審査の対象となります。認証を取得したあとも、年に1度の「定期審査」と3年に1度の「更新審査」により正しい運用を維持しております。

また、審査内容には「情報に被害が及ぼされた時にどういう手順で復旧させるか？」といった内容も問われるため、経営資源として重要な情報管理の仕方について審査を通して学び、運用を改善するきっかけにもなっております。

もし、ISMSにご興味があれば、弊社営業までご相談ください。

ちなみに、昨年までは自社に審査員が来社しての審査でしたが、今年はコロナ禍の影響もあり、リモート審査を行いました。

その際に、役立ったのが昨年紹介しました ミーティングボード【MAXHUB】で、コロナ禍における会議・審査をサポートするための画期的なツールです。弊社に常設展示しておりますので、是非一度ご覧になって下さい！

BSS通信

～2021年03月号～

木々の蕾も少しずつ膨らみ始める3月となりました。近頃は暖かな日も増え、長かった北国の冬の終わりが見え始めたようですね。
3月、卒業シーズンですが去年に引き続きコロナ禍で式典の縮小や人数制限など感染対策をして卒業式などを行うところが多そうです。
その渦中でも、卒業される方にとって思い出深く心に響く式ができるよう心から願っております。

パスワードの使い回しに要注意

ウイルス対策ソフトメーカーのF-Secure (I7セキュア) がユーザーを対象に実施した調査において、回答者の3割が直近1年間に何らかのサイバー攻撃に遭遇したと回答した。特に侵害されたオンラインサービス（サイト改ざん等）の利用者はサイバー犯罪に遭った割合が高かった。
 （調査対象：日本含む12か国を対象に計4800人に実施 ※2020年調査）

被害を受けたオンラインサービス回答を見ると、日本ではショッピング、グローバル（日本以外の各国平均）ではSNSがもっとも多い。

複数アカウントで同一パスワードを使い回す割合は、日本は33%でグローバルは39%。同一ではないものの、似たパスワードを再利用する割合は日本で52%、グローバルで57%にのぼり、この辺の管理状態がパスワードが何らかのサービス（ショッピング・SNS）から漏れた際に他のサービスへの被害に繋がると推測されている。

対応策としては、「サービス毎に全く異なるパスワードを設定」が有効と考えられています。

参考までに右図でパスワードの良し悪し例を記載します。他には、単語+サービス+単語（例：xxxyahoozzz、xxxgooglezzz）といった

内容でも強度を高められますのでご参考までに。

悪いパスワードと良いパスワード	
<p>悪いパスワードとは</p> <ul style="list-style-type: none"> ❶ 電話番号や郵便番号、自動車のナンバーなど (例) 080123456--- ❷ 生年月日(1980年生まれの根来去須さん) (例) 1980nekusasu--- ❸ 社員コード (例) 000XXnekusasu--- 	<p>良いパスワードとは</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 名前などの個人情報は使用しない ✓ 英単語などをそのまま使用しない ✓ アルファベットと数字が混在 ✓ 適切な長さの文字列 ✓ 類推しやすく安易な並べ方にしない

お問い合わせ

株式会社ビー・エス・サイトー

〒010-0948

秋田市川尻新川町9番35号

TEL:018-865-7400 FAX:018-865-7401